

F 研究企画・調整・情報システム・出版・広報

1. 研究の企画・調整・評価

(1) 道立農業試験場長会議

1) 第1回場長会議

期日：平成20年5月23日(金) 10:00～12:00

場所：農政部大会議室

議題：

①協議事項

- ・「平成21年度新規課題設定の考え方」について
- ・平成21年度試験研究費（道費）に係る予算編成の考え方について
- ・平成20年度新規予定課題の調整に係るスケジュールについて
- ・地球温暖化への対応として優先度の高い研究項目について
- ・「農業試験場の地方独立法人化に向けた検討委員会」の設置について

②報告事項

- ・北海道立農試研究成果刊行物について
- ・外部資金(競争的資金)への応募と採択状況について
- ・平成20年度農試科長研修の実施について
- ・平成20年度研究職員研修事業に係る派遣者の決定について
- ・平成20年度の主な日程について

2) 臨時場長会議

期日：平成20年7月4日(金)10:00～15:00

場所：水産林務部1号会議室

議題：

①協議事項

- ・道立農業試験場の独立行政法人化について

②報告事項

なし

3) 第2回場長会議

期日：平成20年7月25日(金)13:30～16:00

場所：農政部第一中会議室

議題：

①協議事項

- ・平成21年度新規研究課題予算要求に係る調整について

- ・道立農業試験場の地方独立行政法人化について
- ・平成21年度超高額備品の整備計画について

②報告事項

- ・「道立農試における種苗生産管理実施要領」(案)の作成について
- ・次期特定政策研究課題(中央農試主管課題)の選考経過と検討状況について

4) 臨時場長会議

期日：平成20年8月29日(金)15:30～17:30

場所：農政部大会議室

議題：

①協議事項

- ・平成21年度超高額備品の整備計画について
- ・第2回試験研究機関改革推進会議議題に対する意見の集約方法について

②報告事項

なし

5) 第3回場長会議

期日：平成20年10月3日(金)13:30～16:00

場所：農政部大会議室

議題：

①協議事項

- ・平成21年度新規要求課題の調整について
- ・平成21年度の研究職員の配置について

②報告事項

- ・道立農業試験場の地方独立行政法人化について
- ・平成20年度農試科長研修について
- ・2008アグリビジネス創出フェアについて
- ・地球温暖化へ対応した「北海道農業における技術開発の中期的対応方向」について
- ・平成20年度下期の主要な予定について
- ・技術普及部のありかたについて

6) 臨時場長会議

期日：平成20年11月20日(金)13:30～

場所：農政部大会議室

議題：

①協議事項

- ・平成21年度機構改革に係る研究職員の配置について

②報告事項
なし

7) 第4回場長会議

期日：平成20年12月12日(金)13:30～17:00

場所：農政部第一中会議室

議題：

①協議事項

- ・「道立農試における種苗生産管理の手引き」について
- ・農業試験場の地方独立行政法人化について

②報告事項

- ・平成21年度新規要求課題の調整結果について
- ・平成20年度研究課題評価の結果について
- ・平成20年度北海道農業試験会議(成績会議)の開催について
- ・平成20年度農試科長研修の実施結果について
- ・平成21年度機構改革について
- ・平成21年度予算要求(維持費、整備費等)について
- ・根釧農試における超高額備品整備の考え方の整理結果について
- ・北海道立農業試験場と地域拠点農学エクステンションセンターとの連携について

8) 臨時場長会議

期日：平成21年3月6日(金)13:30～17:00

場所：農政部第一中会議室

議題：

①協議事項

- ・中期計画の策定に係る重点研究課題の検討について
- ・地独法における農業試験場組織機構(案)のあり方について
- ・平成21年度機構改正に伴う研究業務等への対応について

②報告事項

なし

9) 第5回場長会議

期日：平成21年3月23日(月)13:30～16:30

場所：道庁別館地下大会議室

議題：

①協議事項

- ・農業試験場の地方独立行政法人化について
- ・道立農試の種苗配付に関する整理について

②報告事項

- ・第22回植物遺伝資源連絡委員会における協議及び今後の対応について
- ・競争的資金への応募・採択状況等について
- ・平成21年度の新規実施課題について
- ・平成20年度研究マネジメント研修について
- ・地域農業技術センター連絡会議の活動状況について
- ・平成21年度の主な日程について

(2) 研究調整会議

1) 第1回研究調整会議

期日：平成20年4月28日(金)13:30～16:00

場所：中央農試 大会議室

①協議事項

- ・「平成21年度新規課題設定の考え方」について
- ・平成20年度北海道農業試験会議(研究課題検討会議)の開催について
- ・平成21年度試験研究費(道費)に係る予算編成の考え方
- ・平成20年度の各種プロジェクトの運営計画について
- ・地球温暖化への対応として優先度の高い研究項目について

②報告事項

- ・平成20年度北海道農業試験会議の各部会主査の指定及び副主査の指名について
- ・平成21年度新規予定課題の調整に係るスケジュールについて
- ・平成20年度研究課題評価調書の作成について
- ・平成21年度特定政策研究の概要について

2) 第2回研究調整会議

期日：平成20年6月30日(月)10:30～12:00

場所：中央農試 大会議室

①協議事項

- ・「道立農試における種苗生産管理実施要領」(案)の作成について

②報告事項

- ・研究課題コードの付け方の変更について
- ・外部資金(競争的資金)への応募・採択状況と外部資金(独法受託等)の契約期間・制度の動向について
- ・農業関係試験研究要望課題調査(研究ニーズ調査)の課題化及び課題実施状況調査結果について

3) 第3回研究調整会議

期日：平成20年10月20日(月)13:30～15:30

場所：中央農試 大会議室

①協議事項

- ・北海道農業試験会議（成績会議）の開催日程について
- ・「道立農試における種苗生産管理の手引き」（案）の作成について
- ・平成 20 年度における技術的課題の提案及び「農業新技術 2009」の選定等について

②報告事項

- ・平成 20 年度競争的資金への応募・採択状況と今後の応募に係る留意事項について
- ・2008 アグリビジネス創出フェアについて
- ・平成 20 年度下期の主要な予定について
- ・平成 20 年度研究課題評価（事後・追跡）について
- ・成績会議提出課題の成績概要のデータベース化について

4) 第4回研究調整会議

期日：平成20年12月17日(水)13:30～17:00

場所：中央農試 大会議室

①協議事項

- ・平成 20 年度設計会議の開催について
- ・北海道地域農業研究推進会議「研究成果情報」への対応について
- ・遺伝子組み換え作物交雑等防止事業に係る平成 20 年度試験結果の取扱いについて

②報告事項

- ・平成 21 年度新規要求課題の調整結果について
- ・平成 20 年度研究課題評価（事前評価・中間評価）の結果について
- ・平成 20 年度成績会議の運営等について
- ・平成 21 年農業新技術発表会の開催及び「普及奨励ならびに指導参考事項」の取扱いについて
- ・競争的資金への応募・採択状況、応募に係る留意事項と外部資金（独法受託等）の契約開始日の動向について
- ・種苗生産・配付に係る案件の経過について
- ・研究成果の集報等投稿状況の調査について
- ・道立農試の地方独立行政法人化に係る場長会議での決定事項について
- ・課題検討会を経なかった受託研究課題等の取扱いについて
- ・韓国慶尚南道との農業技術交流に係る派遣職員を選定について

5) 第5回研究調整会議

期日：平成21年2月26日(木)13:15～17:00

場所：中央農試 大会議室

①協議事項

- ・農業試験場の地方独立行政法人化について
- ・各種プロジェクトの運営状況及び次年度の運営計画・体制の見直し（新規・廃止）について
- ・課題検討会を経なかった受託研究課題等の検討について

- ・平成 20 年度成績会議の反省と次年度の対応について
- ・道立農試の種苗配付に関する整理について
- ・第 22 回植物遺伝資源連絡委員会における協議及び今後の対応について

②報告事項

- ・平成 21 年度試験研究予算等について
- ・競争的資金への応募・採択状況等について
- ・北大大学院農学研究院と道立農試の連携協定について
- ・設計会議概要集印刷費の各場負担額について
- ・農業登録申請緩和に係る民間データの北海道農業試験会議における取扱いの基本的考え方について
- ・平成 21 年度の主な予定について
- ・設計会議の留意事項について
- ・農業新技術発表会の開催結果について

(3) 北海道農業試験会議

1) 研究課題検討会議

○平成 21 年度新規課題設定の考え方

1. 課題設定にあたっての基本方針

本道の農業・農村は、農家戸数の減少や農業従事者の高齢化、「食」の安全・安心の問題、地球温暖化等に起因する環境問題、さらには国際的穀物需給の不安定化への対応など、多くの課題に直面している。また、WTO農業交渉やEPA/FTAをはじめとする農業の国際化が進展するとともに、水田・畑作経営所得安定対策の導入など一連の農政改革により、農業・農村は新たな対応を迫られている。

こうした中、試験研究課題の設定にあたっては、「北海道農業・農村ビジョン21」や「北海道食の安全・安心条例」、「道立農業試験場研究基本計画」などに即し、農業生産者、関係機関・団体、消費者などからの研究要望を重視するとともに、産学官の連携もはかりながら、課題の選択と集中をすすめることとし、次の事項を基本方針とする。

(1) 豊かな食生活を支える農業を推進するため、競争

力が高く、安全で良質な農畜産物を低コストで安定的に供給する技術や品種の開発を推進する。

- (2) 環境と調和した持続的な農業を支援するための技術開発を推進する。
- (3) 地域の研究ニーズに対応した農業・農村の振興や地域の産業を支援する技術開発を推進する。
- (4) 効率的な試験研究を推進するため、選択と集中の視点を踏まえて継続課題の見直しや新規課題の設定を行うとともに、外部資金の活用を推進する。

2. 新規課題の重点項目

- (1) 国際競争力・ブランド力強化に向けた農畜産物の高品質・高付加価値化や低コスト安定生産に係る技術の開発
- (2) 食の安全・安心を支えるクリーン農業技術の高度化と有機農業技術の開発
- (3) バイオマス資源を活用する技術と地球温暖化に対応する技術の開発
- (4) 先端技術活用による実用新技術の開発

部会の開催日程及び検討課題数

部 会	日 程	会 場	課題数
総 合	H20.6.4	道庁赤レンガ	3(1)*
作物開発	H20.6.2～3	道庁赤レンガ	15(8)
花・野菜	H20.6.5～6	かでの 2.7.	19(9)
畜 産	H20.6.2～3	かでの 2.7.	23(17)
農業環境	H20.6.2～3	道庁赤レンガ	17(8)
クリーン農業	H20.6.7～8	かでの 2.7.	14(8)
生産システム	H20.6.5～6	赤レンガ/かでの	9(7)
農産工学	H20.6.5	かでの 2.7.	13(1)

※括弧内の数値は、検討課題数の内、新規課題数である。

2) 成績会議

各部会に提出され検討した課題について、総括会議で新農業技術として判定された結果は次のとおりであった。

		普及 奨励	普及 推進	指導 参考	研究 参考	行政 参考	保留 成績	完了 成績	合 計
作物 開発	計	3	3	20	2	0	0	0	28
	(品種)	(3)	(3)						(6)
花・ 野菜	計	1	0	13	0	0	0	0	14
	(品種)	(1)							(1)
畜産	計	7	1	13	7	0	0	0	28
	(品種)	(7)							(7)
農業 環境	計	0	2	15	0	0	0	0	17
	(品種)								(0)
クリーン 農業	計	0	4	141	2	0	0	0	147
	(品種)								(0)
生産 システム	計	0	3	67	0	0	0	0	70
	(品種)								(0)
農産 工学	計	0	1	4	1	0	0	0	6
	(品種)								(0)
総合	計	0	1	2	0	0	0	0	3
	(品種)								(0)
計	計	11	15	275	12	0	0	0	313
	(品種)	(11)	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(14)

3) 設計会議

北海道における農業関係試験研究機関が行う試験研究課題について、平成 21 年度の設計を決定するための専門部会を平成 21 年 3 月 2 日～3 月 6 日にわたり開催した(てん菜分科会は 2 月 23 日、総合部会は 3 月 16 日)。各部会に提出された検討課題数は、次のとおりであった。

部会	分科会	課題数
作物開発	稲	50
	豆類	71
	てんさい	34
	麦類・特用作物	76
	ばれいしょ・果樹	79
花・野菜		112
畜 産	畜産総合	19
	家畜育種・飼養・管理	33
	家畜衛生・バイオテック	33
	草地(品種・栽培)	71
農業環境		143
クリーン農業		34
生産システム		95
農産工学		54
総 合		19
合 計		923

(4) 地域農業技術センター連絡会議

1) 平成20年度地域農業技術センター連絡会議定期総会

- ・日 時：平成20年2月19日 13:00～13:50
- ・場 所：かでの2・7 1050 会議室
- ・出席者：28名
- ・議 事：平成19年度事業実績及び収支予算
平成20年度事業計画及び収支予算(案)
役員改選
報告事項(ブロック会議)

2) 平成20年度地域農業技術センター連絡会議研究交流会

- ・日 時：平成20年2月19日 13:50～17:00
- ・場 所：かでの2・7 1050 会議室
- ・出席者：45名
- ・内 容
- ・話題提供
「水田・畑作経営所得安定対策の背景と展望について」
北海道武蔵女子短期大学 准教授 松木 靖 氏

「品目横断的経営安定対策の見直しについて」
北海道農政部農業経営局農業経営課経営企画グループ
主査 鈴木 透
「土壌診断のための簡易分析法(最新の研究成果の紹介)」
北海道立中央農業試験場 生産環境部
栽培環境科長 小野寺 政行

- ・ディスカッション
「地域農業技術センターの活動強化について」
(進行) 中央農業試験場企画情報室長 品田裕二

3) 平成20年度地域農業技術センター研究情報交換会

- ・日 時：平成20年9月4日 13:30～9月5日 12:00
- ・場 所：サッポロさとらんど
- ・出席者：52名
- ・地域農業技術センターの活動報告等
札幌市農業支援センター 農産係長 新保 清士
岩見沢市農業技術情報施設
岩見沢市北村支所農業振興係長 松永 寿治
共和町農業開発センター 技術指導員 高橋 敏幸
- ・話題提供
「野菜ソムリエと考える北海道の野菜」
ベジタブル&フルーツマイスター 吉川 雅子
「農業体験をとおしてとれたての美味しさ・食べ物の大切さを学ぶ！」～札幌砥石山農業小学校の取組から～
石狩農業改良普及センター主査 中村 照子
「グリーン・ツーリズムの広がりとその効果」～長沼町

- ：修学旅行生受入と意識の変化～
中央農業試験場 生産研究部経営科長 金子 剛
- ・札幌市農業支援センター視察
- ・現地視察
「農業の担い手育成や農地の流動化など地域農業・農村の持続的発展を目指した取組」
(財)道央農業振興公社(恵庭市)
「若手農業者がスクラム組んだ法人化の取組」
(株)アヴァンス(恵庭市)

4) 平成20年度地域農業技術センター連絡会議活動(花き部会・20年度現地研修会)

- ・日 時：平成20年9月11日～12日
- ・場 所：和寒町、名寄市
- ・出席者：21名
- ・内 容：
- ・現地視察
和寒町農業活性化センター(和寒町)
(独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター(名寄市)
- ・花き農家視察研修及び情報交換

2. 情報システムの活用

(1) 北海道農業情報ネットワークシステム(Hao)の管理・運営

1) 利用状況

平成20年度末時点での Hao 登録ユーザ数は、個人529、業務918、合計1,447となっている。

2) 電子メールの利用

平均月間利用数は、22万3千通で、前年度と比べて16%減少しているが、これは、20年3月に迷惑メール対策を実施した結果と考えられる。

3) ホームページの作成

Hao は、北海道農政部、農業試験場、農業改良普及センター、家畜保健衛生所、農業大学校などのページから構成され、総掲載数は約6万ページ以上となっている。

ホームページ全体への月平均のアクセス数は約650万件である。その中には、検索サイトからのクロールが多く含まれ、一般からのアクセスはそれをのぞいた数百万件程度と推定される。

4) システムの維持

19年7月に新たなシステムに更新し、機能、容量等の向上を図っている。

5) 問い合わせへの対応

Q&Aボードでは8件、電子メール等による質問には

3件回答を行った。迷惑書き込み対応のため、休止をした。

(2) 営農指導支援システムの整備開発

本年は、「水稻の生育予測（品種：ななつぼしの追加）」を開発した。

(3) 中央農試ホームページの作成・更新について

入札情報や公開データ情報など、広く道民に対して場の業務等の情報公開を行ったほか、各部にあっては適時ページを更新し、研究成果の情報発信に努めた。

3. 図書・資料

(1) 受入状況

(冊)

資料名	購入	寄贈	合計
単行本(国内)	6	39	45
単行本(外国)	-	1	1
逐次刊行物(国内)	274	223	497
逐次刊行物(外国)	209	25	234

CD-ROM等電子媒体含む

4. 印刷刊行物

資料名	発行年月	頁数	部数
北海道農業試験会議議事概要 設計会議 平成20年度	20. 6	134	230
北海道立中央農業試験場年報 平成19年度	20. 7	132	160
北海道立中央農業試験場事業実施計画書 平成20年度	20. 8	66	170
北海道立農業試験場新規課題実施計画書 平成20年度	20. 8	189	300
北海道立農業試験場資料 第37号	20. 9	180	500
北海道立農業試験場集報 第92号	20.10	95	450
平成21年農業新技術発表会要旨(第27回)	21. 2	38	650
平成21年道央圏農業新技術発表会要旨	21. 2	24	400
北海道農業試験会議議事概要 成績会議 平成20年度	21. 3	78	230

5. 広報活動

(1) 平成20年度中央農試公開デー

- ・テーマ「夏休み、食と農の探検隊」
- ・日時：平成20年8月7日 9:30～15:00
- ・場所：中央農試庁舎、ほ場、果樹園
- ・主催：中央農試
- ・後援：岩見沢市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、JA いわみざわ、JA なんぼろ、JA 由仁町、JA ながぬま、JA くりやま、南空知広域農協連

(2) 資料提供

室外貸出	
場内	場外
387	0

(3) 製本

外注製本		自家製本
国内資料	外国資料	20
47	67	

(4) 図書資料購入費

(千円)

単行本	国内逐次刊行物	外国逐次刊行物	製本	消耗品	計
-	955	4,768	231	75	6,029

ただし、各部で別途購入分は除く。

- ・協力：空知農業改良普及センター
- ・来場者：763名（うち農業者72名）
- ・内容：

土で絵を描こうコーナー、試食コーナー（「ななつぼし」「ふっくりんこ」のご飯、農試産「大豆」と長沼産「味噌」のご汁等）、スタンプラリー、食育体験コーナー、遺伝資源体験コーナー、畑、果樹園見学、夏休み☆おもしろ公開実験室（研究室公開）、なんでも相談（土壌・病害虫の診断等）、地元農産物・加工品の展示即売等

(2) 平成20年道央圏農業新技術発表会

- ・日 時：平成 21 年 2 月 24 日 13:00 ～ 16:00
- ・場 所：恵庭市民会館
- ・主 催：中央農試
- ・後 援：恵庭市、道央農業協同組合、石狩支庁
- ・出席者：148 名（うち農業者 15 名）
- ・発表課題：
 - イメチェン！ ここまできた水稻の低コスト直播
中央農業試験場 技術普及部 水田・転作科
主査 古原 洋
 - 旨い酒はいい米から 中央農業試験場 生産研究部
経営科長 金子 剛
 - カドミニウムの低い、安全なお米の作り方
中央農業試験場 環境保全部
主任研究員 中津 智史
 - 寒さに強い！白度の高い！良食味もち米品種「上育糯
450号」中央農業試験場 作物研究部水田・転作科長
研究職員 平山 裕治
 - 色づき良く、おいしいりんご” 早生ふじ「昂林」「紅
将軍” 中央農業試験場 作物研究部 果樹科
研究職員 井上 哲也
 - 省力かぼちゃ「ほっとけ栗たん（TC2A）を作りこ
なす！ 花・野菜技術センター 研究部野菜科
研究職員 平井 剛
 - ねぎの出荷葉の黄化・・・実は病気（葉枯病）です
～防ぎ方教えます～ 道南農業試験場研究部病虫科
研究職員 三澤 知央
 - ハウス栽培セルリーの減農薬・減化学肥料技術
中央農業試験場 環境保全部土壌生態科
研究職員 富沢ゆい子
 - 新規害虫アングロハモグリバエから” てんさい” を
守る方法 中央農業試験場環境保全部
クリーン農業科長 岩崎 暁生
 - 遺伝子でわかる！球根花きの病原ウィルス
中央農業試験場 基盤研究部
遺伝子工学科長 堀田 治邦
 - 冬野菜を核とした地域活性化 ～施設・機械・労働の
有効活用～ 石狩農業改良普及センター北部支所
専門普及員 上西 てつ子

(3) サイエンスパーク2008/

- ・日 時：平成 20 年 8 月 5 日 10:00 ～ 17:00

- ・場 所：サッポロファクトリー
- ・主 催：独立行政法人科学技術振興機構、北海道
- ・参加機関：北海道立中央農業試験場、北海道立上川農
業試験場、北海道立畜産試験場、北海道立花・野菜技
術センター、北海道原子力環境センター、サッポロビ
ール株式会社、北海道ガス株式会社、北海道電力株式
会社ほか
- ・後 援：札幌市、札幌市教育委員会
- ・参加者：5,300 名
- ・展示コーナー
試験研究に関するパネル展示
メロン、イチゴ、花ユリ新品種の展示
牛、羊、鶏等のペーパークラフトの展示
天敵農薬、微生物農薬、フェロモン製材の展示等
- ・体験コーナー
米の新新品種と昔の品種との食べ比べ、粳摺り・精米
体験

(4) アグリビジネス創出フェア in Hokkaido

- ・日 時：平成 20 年 12 月 5 日 10:00 ～ 12 月 6 日 18:00
- ・場 所：サッポロファクトリーホール他
- ・主 催：NPO法人 グリーンテクノバンク
- ・共 催：北海道農業研究センター、生物系特定産業技
術研究センター、農林水産技術会議事務局
- ・後 援：北海道開発局、北海道、北海道大学、帯広畜
産大学、酪農学園大学、東京農業大学、東海大学、藤
女子大学、産業技術研究所北海道センター、中小企業基盤
整備機構北海道支部、北海道経済連合会、ホクレン、
北洋銀行他
- ・参加者：1, 550 名
- ・技術・パネル展示、試食、プレゼンテーション
美味しい北海道米～「ゆめぴりか」「しろくまもち」
の試食用サンプル提供～ 上川農業試験場
北海道で栽培されるりんご品種の紹介～「ハックナ
イン」ジュースの試飲～ 中央農業試験場
特徴のある豆類等の新品種～「北見春 67 号」のパン、
「中育 52 号」「きたほたる」の煮豆、「絹てぼう」と
菓子の試食～ 中央・十勝農業試験場
美味しいうどんやパンになる小麦新品種の紹介～「き
たほなみ」「はるきらり」の紹介 ～北見農業試験場
植物遺伝資源の地域振興利用～「まさかりかぼちゃ」
の展示～ 中央農業試験場
良食味でクリーンな極早生たまねぎの栽培マニユ
アの紹介 北見農業試験場
バイオマス利活用に向けた試験研究
～菜種油搾油体験～ 十勝農業試験場

6. 場内研修

- ・趣 旨：中央農試研究職員の資質向上を図るため、講師を依頼し、講演会を開催する。

1) 日 時：平成 20 年 11 月 5 日 15:00 ～ 16:00

- ・場 所：中央農試大会議室
- ・主 催：中央農業試験場
- ・出席者：20 名
- ・演 題：「メロンつる割れ病菌レース 1, 2y 抵抗性台木” どうだい 1 号” 育成課程における抵抗性選抜効果とその抵抗性操作について」
- ・講 師：中央農業試験場技術普及部次長
農学博士 中住晴彦

2) 日 時：平成 21 年 3 月 30 日 14:00 ～ 15:00

- ・場 所：中央農試大会議室
- ・主 催：中央農業試験場
- ・出席者：23 名
- ・演 題：「道立農試職員に求められる研究マネジメント」
- ・講 師：中央農業試験場 基盤研究部
副部長 竹内 徹